

あなたにもできる「グリーン購入」

「グリーン購入」とは、商品を購入したり、サービスを利用したりするときに、地球環境のことを考えて、選択することです。

例えば、車を使わずに歩いて買い物に行く、レジ袋を断ることなどを含め、毎日の生活の中で誰にでも今すぐ始めることができます。

私たち一人ひとりが「グリーン購入」を心がけ、社会にその輪を広げることが、地球温暖化などの環境問題を改善するとともに、地産地消など地域経済の活性化による環境と経済が両立した持続可能な社会をつくることにつながります。

市では、環境基本計画に基づくプロジェクトとして、市民とともに買いものごみ減量の出前講座の実施のほか、市で購入する物品・サービスについてグリーン購入を積極的に取り入れています。



あなたも身近なところから、「グリーン購入」はじめませんか？

旬の食材を買いましょう

「旬」の食材なら、暖房などによる季節外れのハウス栽培に比べ、必要なエネルギーも少なくて済みます。

地場の商品を買いましょ

遠く離れた場所から運ばれる農産物は、輸送の分だけエネルギーを多く使用し、地球温暖化にも影響します。

環境こだわり農産物を選びましょう

滋賀県では、農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下にするなど、環境に配慮して作られた農産物を「環境こだわり農産物」として認証しています。

省エネ度をチェックして購入しましょう

家電製品の購入なら、迷わず省エネタイプ。購入時は高くても、電気代を考えると断然お得です。

家電リサイクル法に関するお知らせ

家電リサイクル法に基づき排出する家電は、

10月1日 から

製造業者等（メーカー）ごとのグループ分けがなくなり、すべての「指定引取場所」に引き渡すことができるようになります。

問い合わせ...環境課 589 - 6431、勳589 - 5069

第3回リユース物品の無償譲渡会開催！

～リユース物品の展示および

無償譲渡会を試行開催します～

- 10月12日 午前10時～11時
- 野洲市リユースセンター（仮称）にて（西河原 2419（旧消防署車庫））

粗大ごみ等の減量をめざし、物品リユース（再利用）の推進を図るため、リユース物品の展示および無償譲渡会を開催しています。ごみとして処分するのではなく、まだまだ使えるリユース物品を展示し、皆様のご来場をお待ちしています。

リユース品の譲渡対象者...市内在住者
リユースの対象物品...家具類、チャイルドシート、食器類、陶磁器類、バッグ類

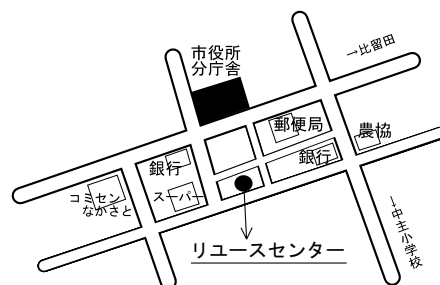


譲渡の申込方法... 午前10時～11時の間に希望するリユース品に対し、1人につき3点まで申し込みができます。午前11時に譲り渡す人を決定します。

複数申し込みがある物品については抽選を行います。

主催...野洲市、環境基本計画エコ・資源部会

その他...引渡し後のリユース物品は返品できません。市はリユース物品の瑕疵責任は負いません。リユース物品の第3者への譲渡は禁止します。



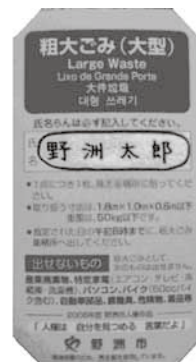
リユースにご協力ください！

市では現在、粗大ゴミとして出された物で、再利用可能な物品を選定し、リユース対象品としています。

家具類、チャイルドシートを粗大ごみとして出される場合、リユース利用に同意していただける人は、粗大ごみシールの氏名欄に「○」の記入をお願いします。

リユースの意思表示があっても再利用が困難な物品については、リユース対象品として取り扱いできない場合があります。

問い合わせ...環境課 589 - 6431、勳589 - 5069



歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

(61)

☎587-4410、Fax587-4413

休館日 / 月曜日、10月13日、11月4日

10月12日は開館します。

秋期企画展「北村季吟と新玉津嶋神社」 / 10月10日～11月15日

講座・展示解説 / 10月25日 午後2時～4時
解説...行俊勉(同館学芸員)

記念講演会「近江を囲む俳人たち」 / 11月3日 午後2時～4時

講師...乾憲雄さん(滋賀県俳文学研究会会長)

現地ウォーク「北村季吟ゆかりの地を訪ねる」

/ 11月7日 午後2時20分 野洲北中学校集合

北遊遊倶楽部の皆さんの案内で季吟ゆかりの地を訪ねます。

対象...どなたでも、40人

参加費...無料

申し込み...電話にて申し込み受付します。

陶芸作品・穴窯焼成のご案内 [博物館友の会陶芸部] 作品搬入 / 11月15日まで、焼成期間 / 11月18日～24日

弥生の森歴史公園の穴窯で作品を焼成し、陶芸を楽しみます、参加費...5,000円 / 1口(粘土3kg、焼成費用含) 友の会に入会要

問い合わせ...博物館友の会事務局 587-4410、
587-4413



北村季吟肖像画
(季吟文庫蔵)

北村季吟と新玉津嶋神社

にいたまつしま

北村季吟(1624～

1705)は、江戸時代に俳人

歌人として活躍した人です。ま

た、古典文学の注釈書を著した

国文学者として知られています。

1624(寛永元)年、近江国野

洲郡北村(現在の野洲市北)に生

まれ、祖父宗龍が永原天神(菅原

神社)の連歌の指導者であったこ

とから、季吟も文学の道へと進ん

だようです。

16歳のころ京都の安原貞室に入

門し、その後、松永貞徳の弟子と

なり、俳諧、和歌や古典を学びま

した。貞徳の没後は俳壇の継承者

となり、松尾芭蕉も季吟に教えを

受けています。国文学者として

は、「源氏物語」「徒然草」「枕草子」

などの古典文学に、読みやすい注

釈を加えて出版しました。季吟は、

古典文学の教養が俳諧や和歌をよ

り高めると考え、講義も行ってい

ます。

季吟は、1683(天和3)年、

60歳の時に京都の新玉津嶋神社の

社司となりました。1689(元

禄2)年には66歳で江戸に赴き、

將軍の和歌の指導をする「歌学方」

として5代將軍徳川綱吉に仕える

ことになりましたが、それまでの6

年近くをここで過ごしています。

新玉津嶋神社は、平安時代、藤

原俊成が紀州和歌の浦から和歌

の守護神を勧請したことに由来

する神社です。京都市下京区松原

通鳥丸西入ル、玉津島町に鎮座

し、季吟の別号「七松子」は、松

原通の七本の松の名所にちなん

だものです。数々の和歌関係資料

が伝えられ、冷泉家からの奉納品

もみられます。また、季吟の関係

資料がこれほどまとまって残さ

れた所は他になく貴重です。

日記は、1661(寛文元)年

7月から12月

までの自筆の

もので、38歳

の時の記録で

す。季吟宛の

手紙を裏返し

て仮綴じして

用いており、

裏面も注目さ

れる資料で

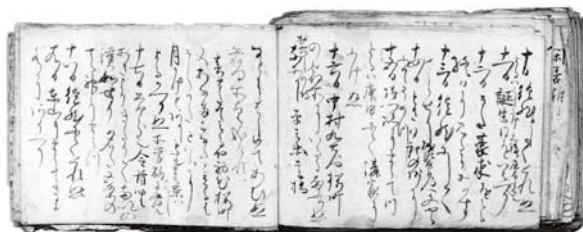
す。ここには、

さまざまな人

との交友、「万

葉集」や「土

左日記」の



日記(新玉津嶋神社蔵・重要美術品)



茶杓(新玉津嶋神社蔵)

古典文学注釈書執筆の様子など、
日々の出来事が記され、当時の動
きを生で知ることができます。

茶杓は、筒に季吟自筆の句「水
仙やしずく玉ちる青畳」の句がし
たためられています。このほか、
由緒記「新玉津嶋記」や書状など
季吟自筆の資料や、冷泉為村奉納
の三十六歌仙色紙画帖、東海道
五十三次の絵をほどこした酒盃な
ど、興味深い作品も伝えられてい
ます。

昨秋、神社より季吟ゆかりの野
洲の博物館へぜひ資料を寄託した
いとの意向があり、今回の展覧
会で公開の運びとなりました。郷
土出身の文化人を再発見する機会
となれば幸いです。

(博物館学芸員 行俊勉)